

ひろげる
つなぐ
かえる

市民活動・ ボランティア ニュース

2010
1

発行 / みえ県民交流センター指定管理者
みえNPOセンター・ワーカーズコープ
514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

2009年12月25日発行
通巻133号



三重県内の市民活動・ボランティア団体の分布をイメージしたものです。
【出典:当センターHP Mなび】

年のはじめに

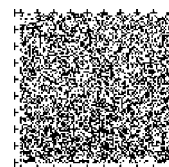
また新しい年が巡ってきた。

顧みてわが身を振り返れば、県民交流センターの指定管理者になったのだから大きな飛躍の年であった。今年も、昨年にまして努力したい。

世の中は、政権交代の波も草食男子出現の世相もまだまだ続く。この国はどこへ行こうとしているのか見えない不安もある。しかし、足もとの生活を作るのは私たちNPOの日々の活動の積み重ねからだ。

遠くを見て意見を言うことも時には必要だが、そればかりではない、今年こそ、身近な課題解決に取り組んでいく地道なことにも取り組んでいきたい。

右の様子は SP コードと呼ばれる
バーコードで、専用の読取機で
音声聞くことができます。



三重県NPOグループからお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

認証申請団体

●認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

(1)人材育成センター(2)平塚秀敏(3)四日市市西新地10番4号

(1)外国人研修生支援・ボランティアネットワーク(2)青木文男(3)津市河芸町上野1168番地101

(平成21年11月10日～平成21年12月9日申請分)

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

三重就労支援事業者機構(平成21年11月5日)

全国高齢者ケア研究会(平成21年11月10日)

w-in(平成21年11月13日)

なばりNPOセンター(平成21年11月18日)

ふれあい工房(平成21年11月25日)

ガーデンテラス泊山崎HOA(平成21年11月26日)

(平成21年11月10日～平成21年12月9日届出分)

みえ市民活動ボランティアセンターからお知らせ

平成21年度

第3回市民活動(支援)センター情報交換会

●とき／1月28日(木)13:30～16:30

●ところ／アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

みえ県民交流センター 交流スペース

●参加費／無料(要申込)

●内容／11 HOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表の川北秀人さんから豊富なお話をさせていただきます。対象は市民活動(支援)センター職員、行政職員などNPO支援、市民活動支援に関わってみえる方。

傾聴セミナー

～コミュニケーションの基本を上手にとり入れて～

●とき／1月25日(月)10:00～12:00

●ところ／アスト津3階

みえ県民交流センター 交流スペース

●参加費／500円

●内容／組織の運営や人間関係などさまざまな場面で役立つような、「傾聴」の技法をとり入れた豊かなコミュニケーション方法をお話していただきます。講師は(特活)みえ親子・人間関係研究会理事長の河合卓子さんです。

●募集人数／30人

NPO無料よろず相談

毎回二団体先着順のため、相談日の一週間前までにお申し込みください。

●とき／毎月第一火曜日(祝祭日の場合は翌日)

(1)10:00～11:00 (2)11:00～12:00

【今後の予定:2010年1月5日、2月2日、3月2日、4月6日】

●ところ／アスト津3階 みえ県民交流センター

●相談員／みえ県民交流センター指定管理者 みえNPOセンター・ワーカーズコープ グループ代表 みえNPOセンター代表理事、同事務局長

●対象／NPO法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問

を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【交流会】●とき／1月12日(火)13:30～16:30

【協働勉強会】●とき／2月17日(水)13:30～16:30

みえNPOセンター・ワーカーズコープ

問い合わせ先 Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971

E-mail center@mienpo.net

イベントスケジュール

「みえ現代詩」80号記念会

●とき／1月17日(日)13:00～16:30

●ところ／アスト津4階(津駅東口隣接ビル) 研修室A

●参加費／1000円

●内容／日本詩人クラブ理事、横田英子さんによる講演会「私の詩と、その周辺」一生の指針となつて。その後、同人と県内詩人計10人による朗読会を開催。

●問い合わせ先／津坂治男 Tel.&Fax.059-372-2476

●主催／みえ現代詩、鈴鹿市芸術文化協会文学部門

あなたの「愛情」が、子どもの「育ち」を引き出すコミュニケーション

パパ・ママコーチング

●とき・ところ／【鈴鹿】1月23日(土)10:00～11:30

ジェフリーすずか3階 研修室B

【四日市1】1月23日(土)14:00～15:30

ララスクエア四日市4階 休憩スペース

【四日市2】2月4日(木)13:30～15:00

ホロン個別学習四日市教室

●参加費／無料 ●募集人数／各会場とも先着20人

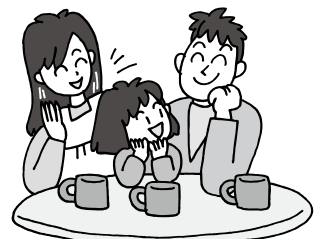
●内容／一生懸命に子育てをされている保護者の皆さん。ちょっと肩の力を抜いてみませんか?すべての子どもは、育とうとする生きものです。保護者がパパ・ママコーチングをマスターすることで、「親力」がどんどん発揮され、子どもたちは「個」としての自立を目指した「子育て」を始めます。

●申込方法／住所、氏名、子どもの学年、会場名、Tel、E-mailを明記し、FaxまたはE-mailで下記まで。

●申込・問い合わせ先／みえコミュニケーション教育実践会(みえコミ) Fax.059-358-1850

E-mail jimukyoku@miekomi.jp

ホームページ <http://www.miekomi.jp>



日本語ボランティア養成研修

●とき／1月25日(月)、29日(金)13:30～16:00

●ところ／いなべ市国際交流協会

●参加費／無料

●内容／【25日】「日本語ボランティアになるために」地域の日本語教室や日本語ボランティアの重要性、役割などを学びます。

【29日】「日本語指導のいろは」「日本語」と「国語」のちがいを、日本語指導の特徴などを学びます。講師は国際交流センター日本語教師養成講座講師の船見和秀さんです。

●応募締切／1月20日(水)

■ ブログや会議が劇的に変わる 認定コーチ&タウン誌社長から学ぶ『情報の発見と発信』 ■

●とき／【初日】1月19日【2日目】1月26日【最終日】2月2日(全3回全て火曜)19:00～21:00

●ところ／松阪市市民活動センター(松阪市日野町788 カリヨンプラザ3階)

●参加費／3回で1500円

●内容／面白いこと、大事なことを「見つける力(発見力)」と、それを「まとめる力・伝える力(発信力)」が、身に付きます。

【初日・2日目】「これで伝わる!～話し方～1・2」

会議で発言した時や、ブログを読んでもらって、「今ひとつ伝わってこないんだよね」、「話の筋が見えにくい」、「まとまりがない」と言われたことはありませんか?面白いことを見つけて(発見)、面白く伝える(発信)には、コツがあります。まとめた内容の「良い例」と「悪い例」を比較しながらわかりやすくお伝えします。講師は(株)リントス代表、里中綾子さん。

【最終日】「これで伝わる!～書き方～」

特別講師に、月刊Simple編集長・(株)ZERO代表の松山泰久さんを招き、伝わる書き方のコツを身につけていただきます。「伝わる」ことで、企画書にも、ブログにも、「アナタらしさ」が表現されて、評判になりますよ!

●申込方法／「発見と発信・講座参加希望」と住所、名前、Tel、Fax、E-mailを記入し、FaxかE-mailで申込み。

●申込・問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(担当/米山) Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-3803

E-mail info@m-bridge.jp ホームページ <http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

■ 広報セミナー「プレスリリースのはじめ方」 ■

●とき／3月6日(土)13:00～16:00

●ところ／アスト津3階(津駅東口隣接ビル) みえ県民交流センター ミーティングルームA&B

●参加費／500円

●内容／講師にはOur Plant TV 池田佳代さんをお招きし、新聞やマスメディアに取り上げてもらえるリリース文の書き方を中心に講義を受けます。その後、実際に文章を書いてお互いに評価し合しましょう。今まで自分が書いていた文章との違いを実感できること間違いなしです。対象は企業や市民活動団体・NPO法人等の広報担当者です。

●募集人数／20人(先着順)

●申込方法／受講料を添えて3月1日(月)までに窓口で申込み。定員に達し次第締切。

●申込・問い合わせ先／みえ市民活動ボランティアセンター(担当:野口・馬) 514-0009 津市羽所町700 アスト津3階

Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971 E-mail center@mienpo.net

ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

●申込方法／Fax、E-mail、Tel、郵送にて下記まで。

●申込・問い合わせ先／いなべ市国際交流協会 511-0273

いなべ市大安町平塚535 Tel.&Fax.0594-78-4848

(Tel.対応は月・水・金)

E-mail kokuryu-inabe2003@coral.broba.cc

(財)三重県国際交流財団 514-0009 津市羽所町700

アスト津3階 Tel.059-223-5006

Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp

ホームページ <http://www.mief.or.jp>

お正月限定 第16回よし笛コンサート

●とき／1月30日(土)14:00～14:30

●ところ／名張市赤目四十八滝キャンプ場内・自然素材空間 ちよいまる

●参加費／無料 ●募集人数／50人

●内容／よし笛だけで奏でる音楽、癒しのひと時を…。

●申込・問い合わせ先／(特活)「地域と自然」

Tel.&Fax.0595-63-9666

ホームページ <http://www.e-net.or.jp/user/yosshi/>

遊びの国「風を作ってよげてみよう!」

●とき／1月30日(土)10:30～12:00

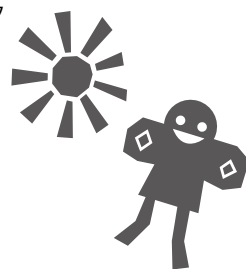
●ところ／みんなの居場所「きらり」(四日市まんなか子ども劇場隣)

●参加費／会員300円、一般500円(材料費別途)

●内容／四日市おもちゃ診療所のドクターに教えてもらいながら、自分だけの風を作って、外でみんなであげましょう。対象は小学生以上。未就学児は親子で参加を。

●問い合わせ先／四日市まんなか子ども劇場 四日市市西町15-16

Tel.&Fax.059-351-6670



NPO事業報告書等の作成実務とSWOT分析による事業計画の見直し

●とき／2月6日(土)10:00～16:00

●ところ／アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

みえ県民交流センター ミーティングルーム

●参加費／通しで2000円(当日支払い)

●内容／①NPO報告書作成のポイント(三重県男女共同参画・NPO室 主事 富山達也氏)NPO報告書、こんなところに気を配ろう。

②PCでやさしい複式簿記記帳(税理士法人スマッシュ経営 部長 安田敏明氏)伝票記入から始める簡単複式簿記(PCを持参すると効果的です)。

③SWOT分析で経営の見直しワークショップ(NPO-MSCL)

事長 松永準一)SWOT分析で経営を改善する事業計画。

●申込方法／参加者氏名、団体名、電話番号を、FaxかE-mailで下記まで。

●申込・問い合わせ先／NPOマネジメント・サポートセンター 中部 Tel.&Fax.052-892-8525

E-mail npo.msc@gmail.com

津市男女共同参画フォーラム わあむ津

広げよう 知っていますか 男女共同参画 あなたも私も自分らしく!

●とき／2月13日(土)10:00～16:30

●ところ／津リージョンプラザ(津市役所西隣)

●参加費／入場無料(申込不要)、託児有(要予約・無料)

●内容／男女が共にそれぞれの個性と能力を発揮して、自分らしく生きることが出来る社会を目指して開催します。

【お城ホール】

13:00 電子紙芝居

「大きくなったら

どんな仕事をしようかな?」

子どもたちの声(出前授業を受けて)

13:25 トーク&トーク 自分らしく生きる

コーディネーター 石阪督規 三重大学准教授

14:25 講演

「女房が宇宙を飛んだ」～女性の生き方、男女の新たな共生～

講師 向井万起男 慶応義塾大学准教授

【2F 各会議室等】

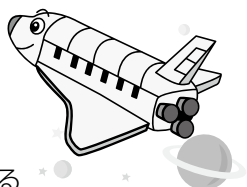
10:00～11:45 ワークショップ

【3F 生活文化情報センター(展示室)・ギャラリー】

10:00～16:30 展示

●問い合わせ先／津市男女共同参画フォーラム実行委員会事務局(津市男女共同参画室内) Tel.059-229-3103

●主催／津市男女共同参画フォーラム実行委員会、津市



よびかけ・報告

パニック障害、摂食障害、強迫性障害、社会不安障害の当事者の
自助グループ Salon de “TRUE BEAUTY”
日常生活に生きづらさを感じていませんか?悩みを抱えた人たちの
グループであなたの悩みや問題を語り合いませんか?

●とき・ところ／1月12日(火)14:00～16:00

鈴鹿市社会福祉協議会 2階 小会議室

1月22日(金)14:00～15:30

白子コミュニティセンター実習室(鈴鹿市江島本町)

●参加費／無料

●問い合わせ先／カウンセリングオフィス TRUE BEAUTY
(厚生労働省認可 上級心理カウンセラー:河西恭子)
Tel.090-1750-6245(受付時間平日 10:00～20:00)

コミュニティビジネス相談センター 新オープン!

松阪にコミュニティビジネスの相談を受ける窓口を開設しました。
全国でも最も古くからコミュニティビジネスを支援している
「(特活)コミュニティビジネスサポートセンター」(東京都千代田区)と連携し、完全バックアップを得ているところが特徴です。
相談は、三重県の「コミュニティビジネスアドバイザー」として登録されている3名のスタッフがご相談内容、ご要望をお聞き

して対応します。

●開設場所／松阪市市民活動センター
(松阪市日野町788 カリヨンプラザ3階)

●開設日時／平日の10:00～17:00

●相談方法／まずはお電話で相談の予約をしてください。

●相談料金／無料

●問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(担当/コミュニティビジネス推進部・古川)Tel.0598-23-8400

E-mail info@m-bridge.jp

ホームページ <http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

※コミュニティビジネスとは、市民が主体となって、地域が抱える課題をビジネスの手法により解決し、またコミュニティの再生を通じて、その活動の利益を地域に還元するという事業の総称です。

コミュニティビジネスに期待されていることとして、「地域の特性を生かした新しい地域社会づくり」、「商店街、まちの活性化」、「地域での雇用創出」、「生き甲斐づくり」などがあります。

〔(特活)コミュニティビジネスサポートセンターのHPより〕

コミュニティビジネス相談事業のご案内

～市民活動の発展・継続のために必要なもの。

それってコミュニティビジネスかも?～

ビジネスと言っても株式会社じゃないと出来ない訳ではありません。実際に多くのNPO法人が、自らのミッション実現のため対価を得ながらサービスの提供を行っています。活動の発展・継続のため安定的な収入確保の必要性を感じているようでしたら、コミュニティビジネスという方法についても検討されてはいかがでしょうか。

三重県ではコミュニティビジネスの創業や発展を促進し、安心で活力ある社会を築くため、コミュニティビジネスに取り組む方の相談に対応できるアドバイザーを登録し、相談を必要とする方に紹介する事業を行っています。

●相談内容／コミュニティビジネスって何?という疑問から、実際の創業及び事業運営に関する課題まで幅広く相談に応じます。

●相談場所・日時／相談の場所と日時は、相談者の希望を踏まえ、アドバイザーと調整の上、決定します。

●相談費用／無料です(但し同一年度内5回まで)。

●申込・問い合わせ先／三重県 農水商工部 商工振興室 産業創出グループ(担当:稲葉) Tel.059-224-2227

Fax.059-224-2480 E-mail shinsan@pref.mie.jp

ホームページ

<http://www.pref.mie.jp/SHINSAN/HP/cb/support/index.htm>

助成金 情報

平成22年度環境NPO助成

●受付締切/1月22日(金)消印有効

●助成の対象となる団体/NPO法人または3年以上の実践活動歴がある国内の任意団体。なお、活動歴が3年未満の任意団体についても、優れた提案については審査委員会の判断で助成対象と致します。

●助成の対象となる活動/a[環境と経済との調和]に資する活動。

b[環境と科学技術との調和]に資する活動。

●助成の額/原則として1件あたり上限150万円

●問い合わせ先/(財)日立環境財団 101-8010 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDXビル21階 Tel.03-3257-0851

Fax.03-3257-0854

ホームページ <http://www.hitachi-zaidan.org/index.html>



企業の持つ人材や資源を活かせるような、積極的・継続的な関わり方を

～JA三重信連～

みえNPOセンタースタッフによる企業訪問が11月からスタート!
第一弾としてJA三重信連を訪問した。

JA三重信連は、取引のある企業・団体相互の親睦、情報交換、社会貢献を目的とした会員組織があり、年に一度チャリティオークションを開催し、その収益金を社会福祉団体に寄付を行ってきた。今年度は寄付先を決めるにあたって、みえNPOセンターから情報収集するなどして、複数の団体の中から障害児支援の「くれっしえんど」を選定した。

また、三重県と企業が連携して取り組む「みえ次世代育成応援ネットワーク」の会員として、子育てに関する支援も行っており、学童保育や子育て支援団体のためにリユース物品の提供などを行っている。

JA三重信連では、社会貢献活動は社会的使命であると考えており、地域の発展に寄与できるようさまざまな取り組み

を行っているが、その中の一つである福祉・文化団体への支援については、具体的な支援方法を地元企業と市民団体の協働事例を参考にしながら、活動趣旨等に賛同するものについては積極的に支援していきたいとのこと。市民団体への寄付を通じ、企業の持つ人材や資源を活かせるような、継続的な関わり方を望んでいるという。支援された団体は、その後の活動を報告することで長いおつきあいができるのではないかと感じた。

「みえ市民活動ボランティアセンター」のホームページについては、「知っていれば参加したい事業もあって、もっと発信力を持って広報するとよいのではないか」と感想を頂いた。これは市民活動全体に共通する課題であり、頭や足を使って、あらゆる媒体を活用して社会に向かって発信しないと、ただの自己満足で終わってしまうのではないかと考えた。

企業や市民活動団体をつなぐのは「人」、実際にお会いして話を伺い多い時間となった。

明治安田クオリティオブライフ文化財団 地域の伝統文化保存維持費用助成

- 受付締切／1月29日(金)消印有効
- 助成の対象／古来各地に伝わる「民俗芸能」ならびに「伝統的生活技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体。
- 助成の額／「民俗芸能」1件につき上限70万円。
「伝統的生活技術」1件につき上限40万円。
- 応募方法／申込に際しては、市町村教育委員会、公立博物館、学識経験者等からの推薦ならびに県教育委員会または知事部局の文化関係課・文化財関係所管課の推薦とコメントが必要。
- 問い合わせ先／(財)明治安田クオリティオブライフ文化財団
160-0023 東京都新宿区西新宿1-9-1 明治安田生命新宿ビル
Tel.03-3349-6194 Fax.03-3345-6388
ホームページ <http://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp>

パタゴニア日本支社環境助成金プログラム

- 受付締切／1月31日(日)消印有効
- 助成の対象となる団体／以下のようなグループ。
常に行動を起こしている。広く一般の人々を巻き込み、支持を得ている。目的達成のために戦略的に活動している。問題の根本の原因を見極め、その原因に働きかけている。明確な目標と活動対象を持っている。パタゴニアがビジネスを展開している地域(詳細はホームページ参照)で活動している。
- 助成の対象となる活動／具体的な環境保護活動。
- 助成の額／活動内容、用途などにより20～70万円程度。
- 問い合わせ先／パタゴニア日本支社／環境助成金プログラム係
248-0006 神奈川県鎌倉市小町1-13-12 Tel.0467-23-8961
ホームページ www.patagonia.com/japan

マイクロソフトNPO協働プログラム2010

- 受付締切／2月8日(月) 24:00 必着

- 助成の対象となる団体／日本国内に拠点をもち、日本国内で活動する非営利団体(法人格の有無、活動年数は不問)
ITの利活用の啓発、促進において、他団体、企業、行政との協働に積極的な団体。
- 助成の対象となる活動／【テーマ1】インターネットの安心、安全な利用を推進する活動 【テーマ2】ITの新たな可能性を拓く活動
上記テーマのうち、本年度は以下の分野における活動を優先的に助成対象プロジェクトとして検討。
【環境】CO₂排出量削減、省エネに貢献する活動
【雇用と就労】雇用と就労の機会を拡充するしくみ作りや貢献する活動
【医療】医療の情報化、地域医療連携、遠隔医療に貢献する活動
【地域活性化】地域課題を解決し、特色を活かした地域活性化に貢献する活動
- 対象事業の期間／平成21年7月1日から平成22年6月30日までの1年間
- 助成の額／1件あたり上限300万円、総額2000万円
- 応募方法／公式サイトより応募用紙等をダウンロードし、E-mailに添付して送信。
- 問い合わせ先／マイクロソフトNPO協働プログラム事務局 (問い合わせ、応募用紙の提出はE-mailのみ) E-mail msnpo2010@jcie.or.jp
ホームページ <http://www.microsoft.com/japan/npo>

おねがい

- 市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。
 - (1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。
 - (2)送付はE-mail(ない方はFax)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。
- E-mail center@mienpo.net Fax.059-222-5971

転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPO回一

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

〈広告〉

株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続まで

NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ

0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所L.C内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

〈広告〉

互いを尊重するフリースクール

……新しい価値をつくりだしてきたフリースクール三重シュール(以下、「三重シュール」と略)のミッション、活動内容を教えてください。

月曜から金曜の10時～17時までフリースクールをオープンしています。小学生以上の子どもたちが通い、さまざまな講座を受けたり、仲間と交流したり、それぞれ自分にあった生活を送っています。

私たちが子どもたちに用意しているのは、「安心できる居場所」「信頼し合える仲間」「自己決定できる環境」です。これがあれば、子どもたちは成長していくと確信を持っています。

……入会までの流れは？

まず保護者との入会相談を2～3時間かけて行います。保護者も、子どもが不登校になったことで苦しい時間を過ごしていますので、じっくりお話を聴き、その上で、子どもの視点に立った話をさせていただいて、「これからの子どもの成長を支援するにはどうしたらいいのか」を、ご一緒に考えます。

ここで保護者に伝えたいのは「子どもの成長を心から信頼する」、「親自身が自分の人生を楽しく生きる」の2点です。多くの子どもにとって、人間のモデルは親です。「うちの親は、トータルで楽しそうに生きているな」と思えるような生き方を保護者自身も考えていただきたいです。

……子どもへのアプローチはどのように？

保護者から紹介していただきますが、この時に「期待をこめずに紹介して欲しい」とお願いしています。

保護者が三重シュールに来る時は、子どもが学校に行くことをある程度あきらめて、それでも子どもの居場所を確保したいと思うからこそ訪れるのですが、それだけに「学校は無理でも、せめてフリースクールには行って欲しい」と期待しがちですし、それは子どもにも伝わります。そんな状況で、フリースクールに行くことを子どもが受け入れられなかったとしたら、子どもの自己否定感はいくら大きくなってしまいますから。

……入会相談後の入会数は？

説明後、子どもが見学に来るのは3分の2か、2分の1ですね。見学は4回までできるのですが、入会するまでに更に数は減っていきます。子どもが望まないこともありますし、外に出られるような状態にないこともあります。また、親子関係が悪化しているため、親の紹介先に行く気にならないことも。三重シュールの情報が、親子関係が悪化する前に伝わっていれば、子ども自身がこんなに苦しまなくてすんだのに…

と思うこともよくあります。

……保護者との関係も大切ですね。

私は子どもが入会しても、「フリースクールに今日は行った、行かない」で、一喜一憂しないで欲しいとお話します。変わらないまなざしで子どもを見守ることを心から理解していただければ、不安はなくなります。

また、家庭で子どもを問題視

している限り、子どもは安心して育ちません。基本的にでしゃばりたくはありませんが、子どもを見ていると、親の様子がわかりますから、必要な時には連絡させていただきます。

親同士の集まりを定期的に行ったり、場合によっては個人面談も行います。親も支える、もしくは一緒に学び合っていくことは大きな課題です。

……子どもたちとの関係は？

子どもたちとの活動の部分は、対等の関係ができていますからあまり苦労はありません。当たり前の人間同士、尊重しあえれば、最初は戸惑った子どもたちもなじんできます。

あと、「評価しない」というのが大きいかもしれません。学校の場合は、通知表もあり評価することが前提ですし、昨今は厳しい自己責任の社会になってきて、評価のまなざしも学校や親だけでなく、子どもたち同士でもありますから、とてもしんどい状況にあります。私たちは子どもたちを叱りもしなければ、褒めもしません。もし、ここで私が子どもを褒めたら、今度は私に評価されるために頑張るようになってしまいます。褒めなくても、自分の存在が認められていればいい。心がけているのはそれぐらいでしょうか。

……そうは言ってもご苦労があるのでは？

時々、「不登校の子どもたちを受け容れるのは、大変ですね」と言われますが、全然大変じゃないですよ。「お互いを尊重する」という関係が三重シュールではできていますからね。

あと、「子どもたちのために…」とも言われますが、私は「子どもと自分のために」にやっていると思っています。私自身、納得できないことに行動を合わせる事ができずに何回も転職をしています。これって、不登校の子どもたちと同じですから。

行政、企業と繋がることで活動を広げる

……先駆的な活動ですが、活動を続けることで社会に及ぼしてきた影響についてはどうお考えですか？

私たちの活動が子どものためになる情報を発信できたかという、自信はありません(苦笑)。特にここ数年の社会不安によって、「学校に行かないもう一つの生き方・学び方」「じっくり休む」という多様性が認められなくなってきているということもあり、社会の大きなうねりの中で、無力感を感じることは正直、あります。

……でも行政や企業との協働を切り拓いて来られましたでしょう？

教育委員会などには随分、ご理解いただいていると感じます。三重シュールのフリースクールに通っている子たちは、学校長の判断で例外なく所属している小中学校の出席日数扱いになっています。

三重県こども局とも今回、サタデーフリースクール(今年度の委託研究事業)という活動で協働することができました。この活動にはソネットエンタテインメント株式会社(以下、「ソネット」と略)にもご協力いただいています。

……その他の企業との関係は？

これは全国でも例がありませんが、三重県遊技業協同組合にはフリースクールの場所をオープン以来ご提供いただいています。



三重銀行には子どもたちの写真展開催にお力添えをいただきました。皆さん、当初は不登校について何もご存じありませんでしたが、私たちの活動の意義や子どもたちの様子をご理解いただいて、温かなまなざしでご支援いただいていることが伝わってきます。

この他、三重県小児科医会やあすなろ学園からも応援していただいています。

……サタデーフリースクールとは？

私たちは当事者の視点から、月曜から金曜のフリースクールが一番必要だとこだわってきたのですが、ここ数年の急激な社会変化によって当事者のニーズに答えられていないのではと思うようになりました。保護者にはシングルマザーや共働きの方も多いため、平日に子どもたちをここまで送迎することができないこともあります。そこで、土曜日にフリースクールを開催することになりました。

ただ、いきなり始めても誰も知っている人がいない、初めての所に子どもたちが足を運ぶのはハードルが高いので、ソネットが運営しているインターネットサービス「リヴリー」を利用して、コミュニケーションも取れるようにしています。

「リヴリー」というのはインターネット上で、「リヴリー」と呼ばれる架空のペットを育成するサービスなのですが、このペットを通じて、他の参加者とゲームや会話を楽しむことができるようになっています。予め、ネット上で仲良くなれば、実際に会うことに対して心理的なハードルが下がるでしょう。実際、入会相談を試みたら何年もひきこもっている子どもが多くいました。

ソネットが全面的に応援してくれていますが、「商品が不登校の子どもの役に立つとは考えもしなかった」と、喜んでくださって、社内報にも取り上げていただきました。ゲームやパソコンは子どもたちのコミュニケーション能力を削いでいるという大人のマイナスイメージがありますが、実際に使っている子どもたちを見るとコミュニケーションの入口になると感じています。

不登校当事者の声を社会に届ける

……社会全体へ及ぼしていく影響については、どう考えられていますか？

フリースクール運営と共に、大切に思っているのは、不登校の子どもたちに対する社会の厳しい目を変えたいということです。今のままでは、当事者の自己否定感が大きくなるだけです。

不登校は声なき声の典型的分野です。県内でも小中学生で約2000人。高校生でも1000人が不登校と数えられていますが、子どもたちが家にひきこ



数学や美術など、いろいろな講座があります



もっているために、問題が外に見えてこない。ですから、不登校当事者の声を発信することも私たちにとっては非常に重要だと位置づけています。

……具体的な活動は？

教育委員会とご一緒に、当事者が語る不登校フォーラムも3～4年行いました。今も時折、教頭先生や教育指導の先生が集まる場などで、お話をいただいています。フリースクールの様子や具体的な子どもたちのケース、親の声など当事者の姿と声を届けています。

私たちの活動が子どもたちに伝わるかどうか。そのために一番重要な役割を担っているのは現場の先生方です。活動やイベントの案内チラシは学校に届けますが、それを不登校の子どもに渡すかどうかを決めるのは先生です。なかには私たちのチラシを子どもに渡すことで、「自分や学校が不登校の子を切り捨てたと子どもと保護者がうけとるのでは…」と、考えられる方もあります。学校の教師の良心として、臆病になってしまうのでしょうか。

その価値観と教育制度は大きな壁です。私たちは学校教育法の外にありますから、先生たちのご協力が必要です。三重シュールでなくてもいい。先生たちが学校以外に居場所を作ろうとするのもいいと思います。県内だけで不登校の子が3000人もいて、しかもその割合は増え続けています。その子たちが「今、生きる。学ぶ」ことを最優先に保証しなくてははいけません。

……今後の目標は？

大きな目標になりますが、「不登校になっても、三重県の子は安心して育っている」と周りから言われるような県にしたいですね。不登校だけでなく、保護者が忙しく子どもの面倒をみられない、食事の準備もできないなど、大変な時代になっています。でも、この世に生まれた以上、子どもの教育の機会とは質量とも平等であるべきですし、人間の権利として、未来への投資としても絶対に保証しなくてはいけないことだと思っています。声なき声である不登校の子どもたちの教育が保証されるようになったら、それは社会と教育全体が底上げされることだと思います。不登校だけでなく、子どもの未来全体を子どもの視点で考える人たちと一緒に、活動をしていきたいですね。

【データ】

514-0006 三重県津市広明町328番地 津ビル1階
Tel. 059-213-1115
Fax. 059-213-1116
E-mail npo@mienoko.com
ホームページ <http://www.mienoko.com/>
●代表者 石山佳秀
●団体設立年月日 2002年5月
●NPO法人化年月日 2002年10月
●会員数 110名
●会費 正会員5000円 賛助会員2000円

「不登校になっても、三重県の子は安心して育っている」と
周りから言われるような県にしたいですね。



子どもの権利条約フォーラムでライブを行いました

ひろげる・つなぐ・かえる

みなさんに一緒に考えていただきたい課題をNPOの視点で取り上げます。

リスク管理

年のはじめにあたり多くの方が新たな決意をされるように、NPOも過ぎし年をふりかえり、新しい年の方針や今後の戦略などをお考えではないでしょうか。その際に、ご自分の組織のリスク管理について考えてみてはいかがでしょうか。

リスク管理といっても、あまりピンと来ないと思われる方もおられることと思います。日頃の活動の中で一般企業であれば行っていることを規模が小さいからそこまで余裕がない、あるいは忙しさにまぎれて、ついつい先延ばしになってしまっているなど、心ならずもなおざりになっていないでしょうか。

組織によって異なると思いますが、規模の大小にかかわらず、人事管理面、情報管理面、財務管理面など、考えられるリスクは少なくありません。企業や公共機関に限らずNPOでも情報流出や利用者の事故、役職員のトラブル、資金の流用など、あってほしくはないけれど、「ない」とは言い切れないでしょう。

卑近な例ながら「みえ県民交流センター」の指定管理者である「みえNPOセンター・ワーカーズコープ」でも、多くの方が利用される施設であることから、スタッフ研修として接遇研修、人権研修、傾聴研修、救急救命講習、環境研修、消防訓練、災害時避難誘導訓練、護身術などを学ぶ機会を実施しています。

どういう組織であっても当たり前といえば当たり前ののですが、スタッフのための基本的な諸手続きや規約類、就業規則や労働契約など、来場者など外部の方向けの対処だけでなく、内部スタッフ向けの対処もおろそかにはできません。もちろん管理面からいうと、NPO総合保険(賠償責任保険・傷害保険)といった保険をかけることも組織を守る上で欠かせないものでもありましょう。

外部向けにしても内部向けにしても、社会的信用を損なうことを少しでも軽減するために、リスク管理を行うことが必要です。財政基盤の脆弱なNPOにとって運営資金の捻出など経営危機への対処もおろそかにはできませんが、長年にわたって築き上げた信用を失うことは組織にとって最も恐れなければならないことです。スタッフであろうと役員であろうとリスクに備える意識づけは日々、心がけなければならないことであることを組織内で話し合っていたく機会にしていきたいと思います。

市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学/(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動センター ●いなべ市●いなべ市市民活動センター ●東員町●とういんボランティア市民活動センター ●四日市市●四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 ●松阪市●松阪市市民活動センター/三重中央大学 ●伊勢市●いせ市民活動センター/皇學館大学 ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●志摩市●志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター ●名張市●名張市市民活動支援センター/エコリソート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/皇學館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター ●伊賀市●伊賀市市民活動支援センター/ウイリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所 ●尾鷲市●東紀州コミュニティデザインセンター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】 県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】 百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル一光各調剤薬局

【行政機関等】 三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]) / 三重県栄町庁舎(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 三重県立こころの健康センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 三重県鳥羽パート情報センター / 三重県立熊野古道センター / 各市町役場

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

東海ろうさん
健全・安心・貢献

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

270 PRINTED WITH SOY INK 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。